

平成25年度 男女共同参画教育の取り組み 【大任小学校】

第六学年 総合的な学習の時間指導案

○教科 六年 総合的な学習の時間 縦割り活動

1 単元名 「7つのグループでなかよくたのしく」 ようこそ大任小へ

2 単元設定の理由

- 本学級の子どもたちは、男女の仲が良く、班やグループでの活動において男女の分け隔てなく協力して活動することができる。また、縦割り活動では、これまでの五年間に、六年生がお世話している様子を様々な活動を通して見たり聞いたりして体験をしてきている。そして、六年生になってこれからは、自分たちが最上級生として男女で力を合わせよりよい大任小学校にしていこうという意識が高まってきている。
- 本単元のねらいは、縦割りグループを編成し、「グループの中で男女が協力し合い自分の役割を自ら見つけ、学校のリーダーとして責任を果たしながら活動することができる。」と、「相手のことを意識しながら活動の企画・立案・実施・評価・反省を行い、よりよい活動をつくることができる。」である。四月に新一年生が入学してきて間もないこの時期に歓迎遠足や歓迎会を計画し、六年生が低学年をお世話していく縦割り活動は、男女が協力し合いながら活動を計画し実行していくことは不可欠であり、学校のリーダーとしてよりよい大任小学校を築いていこうとする態度を培う上でも意義があることと考える。そして、校内や校外の清掃活動や体育会での縦割り競技、六年生を送る会での縦割り活動へとつないでいく。
- 本時の指導にあたっては、新しく入学してきた新1年生を迎え、1年間、新しいグループのメンバーがお互いに協力して活動していくことができるように、6年生のグループ長が中心となって男女が協力して自己紹介やゲーム等の活動を行いながら、お互いのことを知ることをねらいとしている。そのために、最上級生として責任をもって役割を果たすという共通のめあてに向かわせるために、これまでの六年生のしていたことを思い出させる。そして、グループ長が中心となって男女が協力し企画・立案・実施・評価・反省を行い、よりよい活動をつくるできるようにしていく。

3 目標

- ・グループの中で男女が協力し合い自分の役割を自ら見つけ、学校のリーダーとして責任を果たしながら活動することができる。
- ・相手のことを意識しながら活動の企画・立案・実施・評価・反省を行い、よりよい活動をつくることができる。

4 指導計画

【縦割り活動】

学年の学習内容と配時【 総時数 1～4年（11時間） 5年（15時間） 6年（18時間）

月	交流活動を通しての学習	1～4年	5年	6年
4	<p>「7つのグループでなかよくたのしく」</p> <p>1 ようこそ大任小へ 歓迎集会【本時】 1年生を迎え、グループのメンバーの出会いとお互いに仲良くなるための活動をする。</p>	③	③	⑥
6	<p>2 学校をピカピカに・活動1 廊下の清掃を協力して行い、学校をきれいにする。</p>	①	①	②
9	<p>3 入れよう 体育会に 縦割り競技を</p> <p>(1) 作戦をたてよう 縦割り競技についてグループで話し合う。</p> <p>(2) 練習をしようをしよう 縦割り競技の全体練習とグループ練習をする。</p>	② ②	② ②	③ ②
10	<p>4 町内のクリーン活動をしよう グループ毎に話し合い、町内のクリーン活動をする。</p>	②	②	③
3	<p>5 バトンタッチするよ、ありがとうさようなら 6年生への感謝を表し、縦割り活動の引き継ぎをする。</p> <p>入学式で一年生を迎えるための準備をする。</p>	①	② ③	②

5 本時（総指導時数 3 時間）

(1) 主眼

- 一年生を迎え、グループのメンバーの出会いとお互いに仲良くするための活動をすることができる。

学習活動・内容	指導上の留意点
<p>1 新1年生を迎えた新しいグループのメンバーでの自己紹介やゲームの活動の準備をする。</p> <p>(1) メンバーの確認</p> <p>(2) 活動のめあて</p> <p>(3) 活動内容の検討（自己紹介、ゲーム）</p> <p>(4) 役割分担</p> <p>(5) 準備</p> <p>(6) リハーサル</p> <p>2 計画をもとに活動をする。</p> <p>(1) 活動のめあての確認</p> <p>(2) 自己紹介</p> <p>(3) ゲーム</p> <p>(4) 振り返り</p> <p>3 活動を振り返り、次回の活動への見通しをもつ。</p> <p>(1) 活動の成果と課題を個人で振り返る。</p> <p>(2) 全体で成果と課題を出し合い、共有する。</p> <p>(3) 次回の活動の目標を個人で考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 最上級生として責任をもって役割を果たすという意識をもつことができるようにするためにこれまでの縦割り活動を振り返り、最上級生がどんなことをしていたのか話し合う。 ○ 年間の活動を見通し、グループ長を中心に、グループの中で男女が協力し自分はどうなることを目標に活動していくのか話し合う。 ○ 新1年生が楽しく活動できることを意識することができるようにするために、リハーサルをして改善点について話し合うようにする。 ○ グループ長を中心に男女が協力して活動を進めることができるようにするために、準備したシナリオをもとに、活動を進めるようにする。 ○ 活動の中で、自分の役割以外に自分にできることがないか考えながら活動するようにする。 ○ 活動をよりよくするための次回の活動の目標をもつことができるようにするために、活動を通して、できたこと、できなかったことを振り返り、学級全体で共有できるようにする。

6 指導の実際と考察

本単元を通して、児童には、以下の4点の力を育成するようにした。

- ①新しく大任小の一員となって間もない新一年生が、早く学校生活に慣れるように、最上級生として自己紹介やゲーム等を通して、お世話をしていくことができる他者に働きかける力。
- ②グループで自己紹介やゲームをする中で、1年生にも分かるように話したり説明したり、困っていたら手助けをしたりするコミュニケーション・スキルの力。
- ③グループのメンバーの中での自分の役割を自ら見つけ、チームワークを大切にしようとする力。
- ④グループのリーダーとして活動を進めたり、まとめたりしていくリーダーシップを発揮する力である。

新しく入学してきた新1年生を迎え、歓迎する集会をする縦割り活動に取り組んだことで、1年間、お互いに協力して活動していくという意識は随分と高まりをみせた。そして、6年生が中心となって男女が協力し自己紹介やゲーム等の活動を行うことで、楽しみながらお互いのことを知ることができるようになった。

準備・計画の段階で、相手意識を持つことができるようにするために、グループごとに進行役と聞き役に分かれ、児童相互でリハーサルを見合うことを通して、改善点について話し合うようにすにした。また、グループの全員がすべての活動を把握して活動に臨めるようにするために、グループで活動の準備をする際、どの準備にも全員が関わり男女が協力してすることの大切さを指導した。



一年生が自己紹介している様子



ゲームの説明をしている様子

7 成果と課題

【成果】

- ・グループ内で男女が助け合い役割を分担して、事前にリハーサルに取り組み活動を進めていく中で、1年生にも分かるようにゆっくりと話したり、説明したり、困っている子にやさしく声をかけたりする姿が見られた。
- ・「活動を進めることは思っていたよりも大変だったが、1年生が楽しんでくれたのでよかった。」
「計画通りに活動を進めることができたのでよかった。」等の児童の活動後の振り返りから、グループのリーダーとして活動を進めることを通して、最上級生としての自覚をもつことができたと考える。

【課題】

- ・活動を進めることに精一杯で、相手意識を持っていない児童がいた。
- ・グループの中で自分の役割を自分で見つけることができている児童が数名いた